



## 長崎っ子の心を見つめる教育週間

月日	曜	内 容	
7/1	火	○全校集会(校長講話)	〈毎日の取組〉 ・生徒会挨拶運動 ・PTA、育成協挨拶運動 ・2分前着席、1分間黙想 ・朝読書 ・授業公開
7/3	木	○生徒総会	
7/4	金	○被爆体験講話	
7/5	土	○道徳：「生命尊重」	
		○総合：「情報モラル」 ○修学旅行説明会(2年)	

保護者や地域住民が学校を訪れ、授業参観や子どもたちとの交流や教師との語り合い等とおして、学校を起点に地域の大人が地域の子どもたちを見つめ、共に行動することで、心豊かな「長崎っ子」の育成を目的とする、長崎っ子の心を見つめる教育週間を

7月1日(火)～7月7日(月)の1週間に実施しました。校長による、教育週間についての趣旨説明及び講話により教育週間をスタートし、土曜授業での道徳授業では、各学年生命の尊さ、命を守るをテーマに行い、総合では、「メディアを安全に使うために」と題して、県メディア安全指導員を招いて講演していただきました。

【校長講話ではこんな話をしました。】

おはようございます。今日から7月、そして今週は「長崎っ子の心を見つめる教育週間」です。今日はこの「長崎っ子の心を見つめる教育週間」について話をさせてください。

今から22年前、平成15年7月1日、長崎市で、当時4歳の幼稚園児が、中学1年生の男子生徒に連れ去られ、立体駐車場の屋上から突き落とされて殺害されるという事件が発生しました。また、その翌年、平成16年6月1日、佐世保市内の小学校6年生が、学校で給食の準備時間中に、同級生の女の子から首をカッターナイフで切られて死亡するという出来事が起きました。2年続けて子どもが子どもの命を奪うというとても悲しく、いたましい事件が発生し、この事件をきっかけに、長崎県では、みんなで命の大切さについて考える期間として、毎年この時期に「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を設定することになりました。しかしながら、それでも、平成26年7月、佐世保市の女子高校生が、同級生から殺害されるという事件が発生してしまいました。

私は、「小島中学校の生徒を、絶対に加害者にも被害者にもしたくありません。」「君たち生徒の命を守る。」そう強く思っています。そこで、今日は、皆さんに、命の大切さを考えてもらうきっかけとして、1つの言葉を紹介し、3つのお願いをします。

紹介したい言葉は、「俺は、助けてもらわねえと、生きていけねえ自信がある。」という漫画「ワンピース」主人公であるモンキーDルフィーの発した言葉です。私は、この言葉を聞いたとき、鳥肌が立ち、力が抜け、何かほっとしたような気持ちになりました。ルフィーは、強くて頼りになる海賊の船長ですが、その彼でも、自分の弱さを知り、仲間から助けてもらわないと生きていけないと認め、そしてそれをみんなにはっきりと伝えたのです。そのことで、彼ら仲間の絆が深まっていったのだと思います。

今現在、何かの壁にぶつかっている人、友達や家族とけんかしている人、つらい思いをしている人、そんな人はいませんか？

お願いの一つ目です。今、つらい思いをしている人は、仲間や誰かに相談したり、助けを求めてください。決して、恥ずかしいことでも、みっともないことはありません。そして自分を、自分の命を守ってください。

二つ目のお願いです。まわりにつらい思いや苦しい思いをしている人を見つけたら、声をかけて助けてください。先生など周りの大人に知らせてください。また、つらい思いをしている人がいないか、気を配ってください。ルフィーの仲間たちのように、みんなでその人に寄り添っていきましょう。

三つ目のお願いです。私たち自身が、仲間を、人を傷つける、つらい思いをさせる人にならないようにしましょう。最近では、SNSでのトラブルが中学生では、深刻な問題になっています。たった一文字が、一言が、人を傷つけ、人の命を奪うことにもつながりかねません。

「おい！あっち行け」「おい！いっしょに行こう」同じ「おい！」でもそのあとに続くあなたの思いによって、違った結果になります。

今日からの「長崎っ子の心を見つめる教育週間」は、命の大切さについて考えることを軸に、小島中学校生徒の心を磨く一週間と捉え、小島中学校が「笑顔」にあられ、よりよい学校になるようみんなで考え、行動していきましょう。その、第一歩は「おはよう」というみんなの「笑顔」が輝くあいさつから始まっていけると私は考えています。